

一般社団法人 環境共生住宅推進協議会 (kkj)

〒162-0825 東京都新宿区神楽坂 1-15 神楽坂一丁目ビル4階 TEL: 03-6265-3242

平成 28 年 3 月 31 日

パッシブデザインを活用した設計手法の解説書 『環境共生住宅 早わかり設計ガイド／戸建住宅編』を出版

- 環境共生住宅の設計の流れ、ポイント、具体的手法を見開きでわかりやすく紹介
- 手法ごとに地域性や主要な法制度との関係を一覧で整理

一般社団法人 環境共生住宅推進協議会（会長：竹中宣雄）は、パッシブデザインを活用した住まいの設計方法を解説する『環境共生住宅 早わかり設計ガイド／戸建住宅編～30の手法と10の住まい方～』を創樹社より出版いたします。

一般社団法人 環境共生住宅推進協議会（以下、kkj）は、豊かな自然や美しい四季の変化を感じる「環境と共生する住まい・まちづくり」をめざし、1990年より研究・提案・実施・検証等を通じて環境共生住宅の普及促進活動に取り組んできました。

この度、kkjがこれまで25年にわたって蓄積してきた知見やノウハウを結集し、これらの集大成として、環境共生住宅の手法を30項目に集約した設計ガイドとしてまとめました。

この設計ガイドは、近年の社会的課題に対応するための『提言「住まい・まち・暮らしの環境共生」』に示すパッシブデザインの考え方にに基づき、周辺環境や地域資源を活かした快適性・省エネルギー性の両立と、自然災害のリスク低減を図った戸建住宅を実現するため、設計の流れ・ポイント・具体的な方法等をわかりやすく解説するとともに、kkj内外の関連情報も参照できるようになっています。

また、地域の自然環境や住まいの性能を活かし、自然や季節と寄り添いながら快適で健康的に暮らすための10項目からなる住まい方も提案しています。

kkjでは今後、地域の住宅メーカー、設計事務所、工務店等で、住宅の企画開発・計画・設計・施工に携わる方々を対象に、この設計ガイドを活用した環境共生住宅及びパッシブデザインの普及推進活動を展開していきます。

■環境共生住宅 早わかり設計ガイド／戸建住宅編の主な内容

第1章 環境共生住宅とは

- 環境共生住宅がめざすもの
- 環境共生住宅の位置づけ
- 環境共生住宅の計画・設計の流れと概要

第2章 計画・設計編

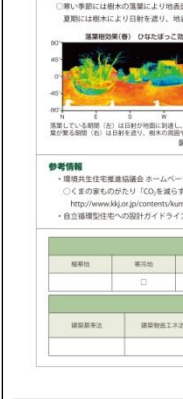
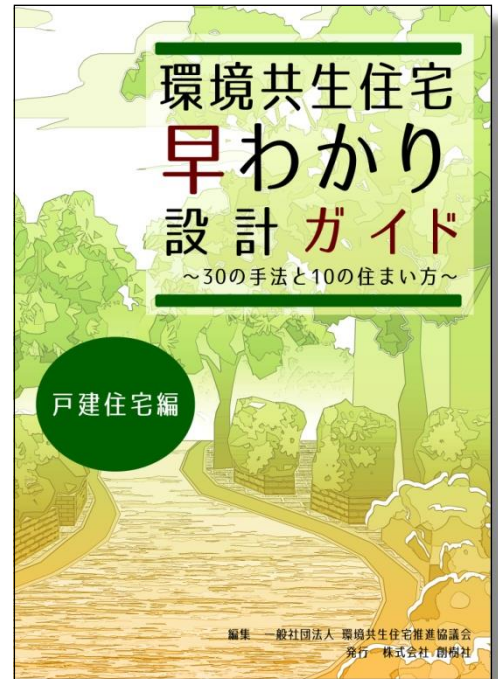
- プレ・デザイン
- デザイン
 - ステップ1 住まいの立地環境を読み解き整える
 - ステップ2 周辺環境や地域環境を活かして住まいをつくる
 - ステップ3 低環境負荷型の設備・技術を組入れる
 - ステップ4 取り組みを統合的にマネジメントする

第3章 住まい方編

- ポスト・デザイン
 - 夏に涼しさを得る
 - 冬に暖かさを得る
 - 小さなエネルギーで快適さを得る
 - 廃棄物を減らし資源に回す
 - 水循環に配慮し水を上手に利用する
 - 緑や生きものを育む暮らし
 - 健康で快適な室内空気質
 - 自然災害に備える
 - 日常災害に備える
 - 長く住み続けるために

編集：一般社団法人 環境共生住宅推進協議会

発行：株式会社 創樹社



【この件に関するお問い合わせ先】

一般社団法人 環境共生住宅推進協議会 (kkj)

事務局：岡 靖明

Tel：03-6265-3242

Fax：03-6265-3243

E-mail：staff02@kkj.or.jp

参考情報

- 環境共生住宅推進協議会 ホームページ
 (広く使われるものが「CO2削減」です。「取うち」
<http://www.kkj.or.jp/Contents/kuma/co2/03/index.html>)
- 自立循環型住宅への設計ガイドライン

地域との関係				
種別地	単体地	集合地 (多層)	連棟地 (小規模)	集積地
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自立循環型住宅の確保				
建築手法	建築物色・工法	調湿法 住宅性能表示制度	長期優良住宅	低炭素建築物認定制度
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

